

# 報新

46年10月号

[第104号] 発行所

編集発行人

大分県日田郡中津江村

斎藤隆一

## 村の功績

46年10月1日現在  
人口 2,932人  
男 1,414人  
女 1,518人  
世帯 689戸  
住民基本台帳から

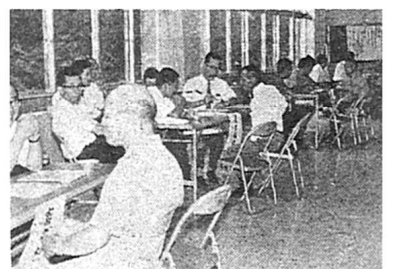
## 県民の声をきく 苦情を含めた県政への相談

県政相談が、去る八月三十日に、中津江村役場において開催されたことは、村民の皆さん既に、御承知の通りであります。さて県政相談の目的は、県政相談の目的は、県民の農産振興の一環として、現在の、又将来も、有望視の処理の過程を通じ、積極的に県政の周知徹底を図り、県民の県政に対する理解と認識を深め、県政の効



県政相談風景

林道開設その他で計九件、福祉事務所関係で三件、土木事務所担当では、県道路の改善等が七件、畜産部門では、牛導入事業等四件、その他教育事務所及び保健所等で十九件、と云った状況でありましたことを皆さんにお知らせいたします。尚この県政相談が、単なる行事として終ることのないように皆さんの要望を果すべく県に対しては、努力



県政相談風景

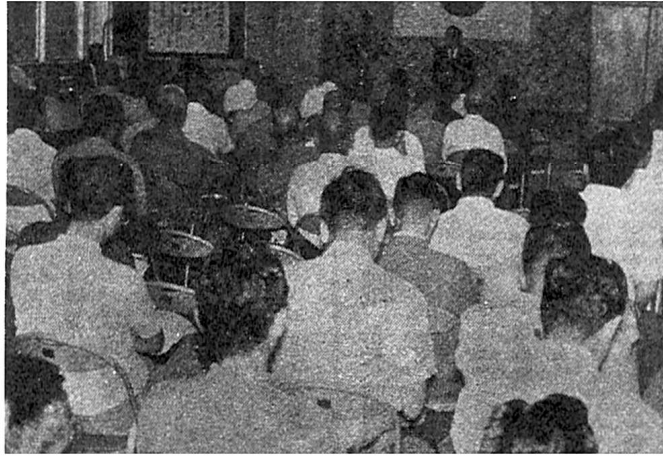
## 中津江村職員採用試験案内

昭和四十六年度の中津江村職員採用試験が次のとおりおこなわれました。  
一、職務の内容 村長部局に属し事務職員として適当な業務に従事する。  
二、受験資格 学歴は問いませんが、高校卒業程度程度の学力を必要とする。  
三、受付期間 昭和四十六年十月二十日まで  
四、その他 その詳しいことは村報前月号(九月号)をみて下さい。

## 老人の医療費

### 十月から十割給付に

老人福祉は変動する社会の中にあつて、大きな社会問題の一つとなつています。特に本村は過疎の中の老人福祉を早急に考えていかねばなりません。とりわけ老人の医療費負担は、年々増加している傾向で、豊かであるべき老後の生活を脅かす大きな原因ともなつています。村はさきに八十才以上の方に「敬老年金」を支給することにいたしました。今度更に、県が老人医療費個人負担分の二分の一を補助することにいたしました。住民課に問合せ下さい。



茶業講演にききいる生産者

## スポーツ！十月の体育行事

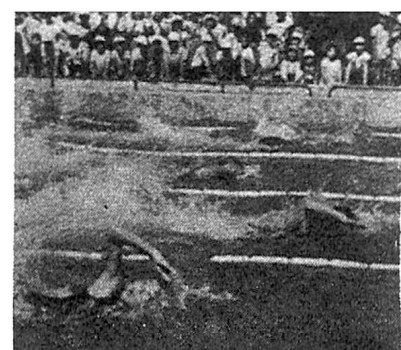
さわやかなスポーツの秋を迎えました。

- △十月十日(体育の日)村の体育協会で、秋のスポーツ行事を左記のように実施するよう予定してありますので御参加、又御観覧をお願いします。
- △十月十日は「体育の日」であつて、この日を初めに、もりたくさんの行事が計画されていますので、どの行事にも、家中そろつて参加いただき、御支援下さい。
- ◎ソフトボール大会 場所 橋原グラウンド 時間 八時三十分開会
- ◎少年ソフトボール大会 場所 中津江中学校グラウンド 時間 九時開会
- ◎第二回歩こう会 目的地 酒呑童子山(キャンプ場)とあります。
- ◎十一月二十四日 集会所 下切橋に八時三十分までに集合し、体協支部長の指示により出発します。

## 新記録が三十でる 小中水泳大会で

中津江村小、中学校水泳大会が九月一日、川辺のプールで開かれ、鯛生小、丸蔵小、川辺小、中津江中、上津江中の生徒二二五名が参加して熱戦がくりひろげられました。

- 各種目の優勝者は次のとおりです。
- 小学生の部  
男子 二五自川村善人(川辺) 一六秒二、五自川村善人(川辺) 三九秒四、二五自平野茂富(川辺) 二四秒六、五自平野茂富(川辺) 二四秒八、二五自背平野和生(丸蔵) 二四秒八、百自リレー川辺小 一分二秒九
- 中学生の部  
男子 百自一年河津真次郎(中中) 一分二六秒三、同二年川津芳昭(中中) 一分二四秒二、百自二年川津芳昭(中中) 三分二秒九、百自一年林悦雄(上中) 一分五三秒三、同二年永瀬みちえ(中中) 一分五三秒三、同二年信岡百合子(上中) 一分五四秒九、百自一年永瀬みちえ(中中) 三分三三秒三、同二年壁村成子(中中) 四分五秒三、百自一年毛利澄代(上中) 一分四九秒二、同二年渡辺節(中中) 一分三九秒九、五自バタ一年前和子(上中) 五一秒一、同二年佐藤淳子(上中) 五三秒八、百自リレー一年上津江中 二分四三秒二、同二年上津江中 二分四二秒六、百自メドレー上津江中 三分〇秒五



水泳大会女子自由形50メートル

## 郵便貯金増強運動！

郵便局長

豊かな暮らしをつくり、貯え、公共投資を促進させるためには、貯蓄の増強が極めて重要であります。皆さんの貯蓄はまさに大蔵省、自治省、厚生省の幸を守り続けています。中津江村もこの積立金を増強運動月間として貯蓄を推進してまいります。最近の経済状況は、ドルショックなどの影響により不況ムードであり、国の保償し、高い利息の円債の値下り、国際的に高まり物に対する信用は低下の傾向にあります。こんなときこそお金を

## 十月の農作業

水稲

十月は収穫調整の時期です。これからの稲の管理、特に乾燥方法は米質の良悪に大きく影響します。水稲は刈取直前には、その水分含有率は天気によりますが十九〜二十四%です。これを刈取り脱穀します。その後天日又は機械により乾燥し十四%程度まで乾燥させます。機械乾燥の場合急速に乾燥すると割割米を生じますので必ず冷乾燥をします。従来の供出米は十一〜十二%の過乾燥が多く見られました。過乾燥になると貯蔵中の病虫害の発生は少くすくすとなります。現在は米の過乾燥問題でうまい米が要求されていますので、特に供出米の乾燥には充分留意しましょう。なお、自家消費用の保米の貯蔵は、一部津江地域で見られる糠貯蔵(今予り米)すれば米質の悪化を防ぐのに役立ちます。

次に、米年の種子用の稲は病虫害の発生が少ない登熟のよい田を選び、やや早目に収穫し、動力脱穀の場合回転数を落とします。品種選抜は今年のような不良天候対策のためにも、三種を選び危険分散を図りましょう。また種子の更新は三年に一度は必ず行なつて下さい。

(イ) その他... 水田耕作や遊休耕地には茶、梅、栗、柚等の永年性作物を栽培するよう計画をたて、農協や役場と苗の注文等相談をしておきましょう。

